

くびき野 NPO サポートセンター 平成 29 年度事業報告

事業実施の方針

- (1) NPO が行う活動だけでなく、向き合う社会的課題や成果についての発信を強化し、NPO への参画や支援、他セクターとの連携を後押しする。
- (2) 業務の合理化を進めながら、新たな社会的課題や NPO の領域を見据えた事業を開発する。

重点項目として、

- ①NPO PRESS 制作事業
- ②にいがたNPO基金
- ③NPO インキュベーション事業

ビジョン 2008 に基づく事業区分

市民の NPO への関心を高める事業 目標: くびき野地域の NPO 法人数 1 万人 (地域人口の 1%)	①NPO PRESS 制作
	②WEB による情報発信
	③上越市市民活動支援
	④上越市市民活動交流会
	⑤SAVE JAPAN プロジェクト
市民の NPO への支援を高める事業 目標: NPO へのボランティア参加している人の割合 3 割 くびき野地域の NPO 法人への寄付総額 3 億円	①くびき野市民活動フェスタ
	②にいがたNPO基金
	③災害支援
	④市民活動体験ツアー
地域に自主・自立した NPO を増やす事業 目標: NPO 法人数 300 団体	①NPO 法人設立・運営相談
	②各種講座
	③講師派遣
	④協働環境整備
	⑤印刷機設置
	⑥NPO インキュベーション施設提供
センター運営に関する事業	①会員拡大
	②総会
	③理事会
その他	①百年料亭ネットワーク調査・報告事業
	②他団体との連携等

市民のNPOへの関心を高める事業

①NPO PRESS 制作（上越タイムス社との協働事業 継続事業 18年目 達成レベル△）

目標

カラー紙面を有効に活用し、活動する市民の表情を伝えられる紙面を制作する。実際に活動している人自身が執筆するコラムや未だ社会的認知度の低い活動など、地域課題とそれに取り組む活動を発信する紙面を増やしていく。また掲載した内容について、引き続きコミュニティFM等での発信を行う。協賛広告については、紙面との連動企画なども増やしていく。

★数値目標 広告訪問件数 500件、年間広告 400万円

報告

目立たなくても地道に活動している団体や草の根的な団体の活動について、例年以上に掲載し発信した。反面、特定の活動をテーマとした特集紙面等、社会的な課題を深掘りしたものが減り、「読み応え」に課題となった。

協賛広告については、8月18日に800号を迎えた記念広告、カラー紙面への広告掲載の促進を中心に営業を展開した。年間契約企業の減少や前年度の協賛実績増加による影響もあり、今年度は目標金額を達成することができなかった。人員体制等を含めて抜本的な対策が必要。

★数値実績：広告訪問件数 318件、年間広告 180万円

NPO PRESS 掲載記事一覧

(平成29年4月～平成30年3月)

月日	TOP	市民活動図鑑、トピックスほか	その他	
4月	7	・地域住民手作り観桜会	・(図鑑)花いっぱい上越	・想いきらり(さいがためくもりの会)
	21	・市民活動フェスタ参加団体募集	・(図鑑)大湯歩こう会 ・NPO基金助成報告会	・想いきらり(ふるさと越後・温かい音楽の会) ・いきいき春日野10周年記念行事
	28	・緑のフェスティバルにNPO出店	・(図鑑)うちの実家北出丸 ・GWイベント特集	・高田世界館新スタッフ就任
5月	5	・子ども・子育て支援制度来春本格スタート	・寄稿「ベトナムで教わった感謝の心」	・JC創立50周年企画③
	12	・にいがたNPO基金第1回助成報告	・NPO時評「GWと観光について」	・想いきらり(CAP上越)
	19	・銀座で平丸スゲ細工をPR	・(図鑑)高田法人女性部会	・地域の茶の間紹介
	26	・寄稿「認定NPO制度が危ない」	・(図鑑)ブラッセリージャズオーケストラ ・中郷区まちづくり振興会ワークショップ	・想いきらり(えちご若者元氣塾)
6月	2	・平丸スゲ細工保存会設立準備	・サポセン通常総会報告	・里山地域おこしバスツアー
	16	・環境月間特集(ホテル等)	・おりづるへNPO基金助成	・想いきらり(スキップ)
	23	・ホワイトボードミーティングで会議を前向きに	・(図鑑)上越市太極拳協会	・想いきらり(おおがたスポーツ倶楽部) ・おめでとうNPO法人(上越ラジコン倶楽部)
	30	・専門を活かし地域でボランティア	・ささら講座初夏の特別編「里山の地域おこし体験」	・想いきらり(ゆめきゃんぱす)
7月	14	・特集「夏・妙高で体験しよう」	・妙高青年会議所パトロール	・市民活動フェスタ通信
	21	・くびき野市民活動フェスタ2014開催	・同左	・同左
8月	4	・ひとくちの寄付2014募集開始	・(図鑑)妙高からむし研究会 ・消費生活サポーター養成講座参加者募集	・想いきらり(大杉の里)
	18	・にいがたワークライフフォーラム概要	・(図鑑)春日山節・棒体操保存会 ・NPO時評「減災という視点から」	・想いきらり(きたしろ相談センター)
	25	・いきいき春日野国際交流	・(図鑑)フラワーサロンクルール	・市民活動フェスタ後記事

月日	TOP	市民活動図鑑、トピックスほか	その他	
9月	1	・ろうきん県内NPOへ職域募金開始	・savejapanプロジェクトin新潟&五泉	・想いきらり(夢をかなえる会)
	8	・緑とくらしの学校課外プログラム実施	・妙高彩生アート展開催	・想いきらり(木と遊ぶ研究所) ・ひとサボつうしん
	15	・地域共助社会づくり懇談会in上越	・市民発の地域フォーラム開催	・雁木サミット開催
	22	・ひとくちの寄付2014募集開始	・街なかグルメグランプリ開催	・妙高市市民活動支援センター通信
	29	・にいがたワークライフフォーラム開催	・JC創立50周年記念特別対談	・同左
10月	6	・糸魚川街なかコレクション開催	・(図鑑)頸城走遊遊会	・ささら講座集中開催
	13	・企業の社会貢献特集	・(図鑑)上越セ/パタクロークラブ ・かみえちご山里ファン倶楽部演奏会	・想いきらり(Kids体育クラブ)
	20	・ひとくちの寄付2014キャンペーン開始	・(図鑑)田海ヶ池トンボを守る会	・想いきらり(e-myoko)
	27	・ワークライフポニーズ感謝祭	・ネコ30匹の里親を募集(どうぶつのきもち)	・第2回デザインマーケット上越
11月	3	・高田法人会女性部会20周年	・素人芝居大浦安新作公演	・JC創立50周年特別企画⑥
	17	・新潟ろうきん福祉財団セミナー開催	・善光寺でスケ細工PR(スケ細工保存)	・ひとサボつうしん ・妙高市市民活動支援センター通信
	24	・妙高支援センター地域づくりフォーラム開催	・(図鑑)合唱団雪ん子	・内山理事長就任記念寄稿
12月	1	・市民セクター全国会議開催	・(図鑑)米寿会	・長野県北部地震救助活動の様子 (新潟県災害救援機構)
	8	・ひとくちの寄付2014/パネル展示で活動紹介	・ネコ多頭飼育崩壊(どうぶつのきもち)	・ひとサボつうしん
	15	・マミーズネット県の認定第1号	・(図鑑)切り絵の会さくら組	・盲導犬啓発に功労賞
	22	・NPOPRESS1年の振り返り	・牧区で除雪ボランティア募集	・想いきらり(くびき里やま学校)
1月	5	・新春特集インタビュー	・同左	・想いきらり(緑とくらしの学校)
	12	・ボランティアでつくる障がい者スポーツの場	・緑とくらしの学校認定取得	・初春イベント案内
	19	・まち歩きイベント「あわゆき道中」開催	・(図鑑)太鼓グループ海音鼓	・妙高市市民活動支援センター通信
	26	・NPO法人情報公開特集	・同左	・同左
2月	2	・子ども子育て新制度勉強会開催	・出張理美容サービス開始 (日本理美容福祉協会上越センター)	・ささら講座「地域の茶の間」開講
	16	・にいがたNPO基金第3回助成募集開始	・特集「地域にひろげたいささえ合いのかたち」	・ひとサボつうしん
	23	・ライフステージリレーネットワーク会議開催	・緑とくらしの学校保育部門を新設	・企業の社会貢献(ピーエムシー株式会社)
3月	2	・高田世界館活動を再開	・(図鑑)わかばの会 ・にいがたNPO基金第2回助成の活用報告第1弾	・上越傾聴の会活動開始から1年
	9	・どうぶつのきもち講演会開催	・にいがたNPO基金第2回助成の活用報告第2弾	・樹下美術館春の開館へ
	16	・ささら交流会開催	・さいがためくもりの会認定取得 ・にいがたNPO基金第2回助成の活用報告第3弾	・ひとサボ通信 ・想いきらり(大湯町ジュニアリーダークラブ)
	23	・おりづる調理場リニューアルし新事業へ	・えちごキメき鉄道沿線でイベント開催	・妙高市元気づくり助成事業成果発表
	30	・くわどり生活デザイン参考館を開館	・(図鑑)板倉おもてなしの会	・県内中間支援組織スタッフ研修会

●FMみょうこう「ハッピーライフ」への出演 (継続事業 3年目 達成レベル○)

目標

FMみょうこうの番組「ハッピーライフ」(土曜12:00~13:00/日曜9:00~10:00(再))内の1コーナーに出演し、NPOPRESSの掲載記事や地域の市民活動に関する情報を発信

報告

29年度から隔週に。NPOPRESSで取り上げた団体の活動をコミュニティFMによって発信し、情報提供の機会としてきた。地域メディアとの協働による市民活動の情報発信。

②WEBによるNPO情報発信（継続事業 9年目 達成レベル△）

目標

動的な発信についてはNPOPRESS等と連携しSNS等の活用を進め、更新頻度を高める。HP（固定ページ）については、静的情報を発信するような役割分担へ移行する。

報告

団体HP（団体概要等の静的情報）とSNS（イベント案内等の動的情報）との役割分担を図った。facebook、hand-shakeと連動し、交流会等のイベント情報の発信を継続する。

③上越市市民活動支援（上越市受託事業 継続事業 16年目 達成レベル◎）

目標

ボランティア相談及びコーディネート、ボランティアニーズ調査を実施。その他、NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行う。社会活動参加促進のためのサイト「hand shake」等も活用し、ボランティア活動に関する最新情報を提供する。また今年度は、パンフレットの制作・配布、市民活動見学バスツアー等も企画し、市民活動への参加を促進する。

★数値目標：ボランティアコーディネート 400件
hand shake 訪問者 40,000人

報告

窓口担当スタッフを配置し、コーディネート業務を実施。

★数値実績：ボランティアコーディネート 545件
hand shake 訪問者 16,663人

④上越市市民活動交流会（上越市受託事業 継続事業 3年目 達成レベル○）

目標

市内で活動している市民活動団体が、お互いの活動を認識し、交流を持つ機会を提供することで、活動リソースの共有、活動上の課題の克服、新たな協働事業といった団体同士の連携を促進させ、さらなる市民活動の充実を図る。

- ・市民活動団体同士の連携を図る交流会（4回開催）
- ・団体同士が知識やノウハウを共有する交流会（4回開催）

報告

予定通り8回の交流会を実施。様々な団体による交流会のほか活動テーマ別、ノウハウ共有など形をかえながら開催した。

▼開催実績

- 第1回 日 時：平成29年5月11日（木）19:00～21:00
内 容：事例紹介「クラウドファンディング」、参加者ミニプレゼン、グループトーク
講師 株式会社 FARM8 代表取締役 樺沢敦氏
参加者数：12団体・20人、満足度：87.3%
- 第2回 日 時：平成29年5月27日（土）10:00～12:00
内 容：音楽関係団体による活動紹介、グループ&フリートーク
参加者数：7団体・20人、満足度：69.2%
- 第3回 日 時：平成29年6月13日（火）19:00～21:00
内 容：講義「メディアの皆さんから学ぶ広報術」、グループ&フリートーク
講師 株式会社パーツプロダクション 代表取締役社長 竹内豊氏
参加者数：10団体・16人、満足度：92.3%
- 第4回 日 時：平成29年7月6日（木）19:00～21:00
内 容：講義「助成金の申請方法とそのポイント」、グループ&フリートーク
講師 一般財団法人新潟ろうきん福祉財団 地域共生推進室長 富澤佳恵氏

- 参加者数：11 団体・17 人、満足度：83.3%
- 第 5 回 日 時：平成 29 年 11 月 21 日（火）19:00～21:00
内 容：講義「コミュニケーションスキルアップ」、グループワーク「質問力を鍛える方法」
講師 有限会社 F&C ヨシザキ 代表 吉崎利生氏
参加者数：5 団体・8 人、満足度：100%
- 第 6 回 日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火）19:00～21:00
内 容：グループワーク&発表「今年の振り返りと来年の目標」、グループ&フリートーク
参加者数：4 団体・10 人、満足度：100%
- 第 7 回 日 時：平成 30 年 2 月 15 日（木）19:00～21:00
内 容：事例紹介「ボランティア受け入れのノウハウ学ぼう」、グループ&フリートーク
参加者数：8 団体 14 人、満足度：77.8%
講師 しっぽのなかま 副代表 横山とも子氏
社会福祉法人みんなでいきる 障害福祉事業部りとるらいふ 渡辺功氏
- 第 8 回 日 時：平成 30 年 3 月 24 日（木）19:00～21:00
内 容：講義「ビジネス感覚で組織と活動を変える」、グループ&フリートーク
講師 スタジオファイル 代表 金子洋二氏
参加者数：11 団体・17 人、満足度：90.9%



**ボランティア受け入れの
ノウハウを学ぼう！**

目的・趣意
「ボランティア受け入れのノウハウを学ぶ」と題して、ボランティア受け入れのノウハウを学ぶ。ボランティア受け入れのノウハウを学ぶ。ボランティア受け入れのノウハウを学ぶ。

日時
2/15
19:00～21:00
上野市役所 3F 303 会議室
※参加費無料

申込先・申込先
上野市役所 ボランティアセンター
〒970-0042 上野市上野 1-1-1 上野市役所 3F 303
TEL 025-257-9413 FAX 025-257-4346
Eメール volunteer@city.uono.lg.jp
URL <http://www.city.uono.lg.jp>
※申込締切日：2/14（金）15:00 締切後は受付できません。

申込先・申込先
上野市役所 ボランティアセンター
〒970-0042 上野市上野 1-1-1 上野市役所 3F 303
TEL 025-257-9413 FAX 025-257-4346
Eメール volunteer@city.uono.lg.jp
URL <http://www.city.uono.lg.jp>
※申込締切日：2/14（金）15:00 締切後は受付できません。

上野市のボランティアセンターでお待ちしております。

⑤SAVE JAPAN プロジェクト（継続事業 6 年目 達成レベル ◎）

目標

損保ジャパン日本興亜「SAVEJAPAN プロジェクト」の新潟エリアを担当する。今年度は「カメ」をテーマに、生物多様性保全団体を実施主体として、県内各地の生態調査等を行い、そのデータをもとに県内の団体や機関の連携を促進させるシンポジウムを開催する。

★数値目標：イベント参加者数 100 名

報告

生物多様性保全ネットワーク新潟と連携し、在来カメ類の保全を目的とした「新潟カメプロジェクト 2017」を実施。6 月～8 月に上越市、村上市、柏崎市、佐渡市で調査会を開催、9 月 3 日に新潟市で調査会・シンポジウムを開催した。

★数値実績：

イベント参加者数約 135 名（全会場合計）



市民の NPO への支援を高める事業

①くびき野市民活動フェスタ（継続事業 19年目 達成レベル△）

目標

夏から秋にかけての約1ヵ月程度をイベント期間として開催する。市民に NPO や市民活動への参加を広げるという原理原則を柱に、参加団体同士のネットワークづくも深め、くびき野地域の NPO や市民活動の活性化につなげる。

★数値目標：参加 20 団体、協賛 20 件

報告

今年度は、11月11日～11月30日までの期間で開催。イベント集中日は11月12日に上越市市民プラザのにぎわいわいまつりと同日開催。

★数値実績：参加 7 団体、協賛 12 件

イベント集中日來場者数 約 300 人



②にいがた NPO 基金（継続事業 6年目 達成レベル△）

目標

基金設立5年というタイミングに合わせ、県内企業や市民にむけ寄付募集のアプローチ（企業訪問、募金、NPO への PR 等）を積極的に行う。合わせて、新潟ろうきん NPO 寄付システム、ひとくちの寄付キャンペーンを通じた寄付募集も継続していく。

助成事業については、5年間の助成金活用状況や成果をまとめた報告書を作成し、支援者への報告及び今後のファンドレイジングに活用する。

報告

「新潟ろうきん NPO 寄付システム」を中心に寄付募集を行い、今年度は県内で活動する NPO 等へ総額 78 万円を助成することができた。また、「ひとくちの寄付」は昨年3月から単年度実施でなく、寄付者が長期的に支援できる仕組みを変更したため、引き続き寄付募集を行う。

●ファンドレイジング（寄付募集）事業

- ・「第5回ひとくちの寄付」キャンペーン
エントリー団体数：17 団体（昨年と変更なし）
- ・「新潟ろうきん NPO 寄付システム」登録者数：416 件
- ・企業訪問、募金箱設置依頼等：29 件

●助成事業

- ・「第5回助成金交付式、報告会」

6月20日に新潟県自治会館で開催

参加者：22名（助成先団体、前年度報告団体、寄付者、協力機関等）

- ・「第6回（2018年）助成プログラム」

募集期間／2月1日～3月9日 選考会／3月24日

助成総額：780,000 万円（7 団体）

- ・A コース（上限 5 万円）：NPO 法人ネージュスポーツクラブ（十日町市）5 万円、上越市まちづくり市民大学 OB 会（上越市）5 万円
- ・B コース（上限 30 万円）：NPO 法人たか坪の会（新潟市）15 万円、NPO 法人風小僧（魚沼市）10 万円、NPO 法人新発田地区腎友会なでしこ（新発田市）20 万円、NPO 法人新潟の科学・自然探偵団（新潟市）15 万円、NPO 法人新潟ねっと（新潟市）8 万



平成29年4月1日～平成30年3月31日

収入の部		支出の部	
項目	決算	項目	決算
寄付金収入	1,080,519	助成金支出(未払い)	858,000
おまかせ型寄付	1,002,519	第6回(2018年)助成金	780,000
事業指定型寄付(ひとくちの寄付)	78,000	事業指定型寄付(ひとくちの寄付)	78,000
前期繰越金	0	経費	316,866
くびき野NPOサポートセンター負担金	94,347	会場費	19,260
		旅費交通費(運営委員、事務局、団体含む)	142,202
		通信費	125,044
		研修費	6,480
		会議運営費	12,000
		雑費、租税費	11,880
当期収入合計	1,174,866	当期支出合計	1,174,866
		次期繰越	0
収入合計	1,174,866	支出合計	1,174,866

③災害支援(継続事業 7年目 達成レベル○)

目標

上越市で災害が発生した際、災害ボランティア活動における関係団体間の連携体制を構築することを目的とした「上越市災害ボランティア連携推進会議」について、引き続き取り組む。また糸魚川駅北大火の被災者の生活再建に取り組む現地社会福祉協議会への支援も続ける。

報告

- 「浪江のこころ通信」への協力
東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が、福島県浪江町の避難者支援として実施している「浪江のこころ通信」において、新潟県内の取材窓口を担当。避難者への取材を2件実施。
- 上越市災害ボランティア連携推進会議
上越市社会福祉協議会と上越青年会議所、上越市による4者で継続的に開催。9月2日には、新潟県・上越市による総合防災訓練において「災害ボランティアセンター」の運営訓練を実施した。
- 新潟県災害ボランティア調整会議
新潟県内の災害ボランティア活動の普及啓発を目的に新潟県や県社協、市長会等21団体で組織する会議。当センターも加盟団体として参加し、災害支援アドバイザー派遣の選考委員や財源確保部会長などを担当。

④市民活動体験ツアー(上越市協働事業 2年目 達成レベル○)

目標

上越市の特色や魅力をまちづくりに活かしているNPO、地域課題に取り組むNPO等の活動の現場を訪問し、市民のNPOへの理解を深めるとともに、市民がNPO等の活動やボランティアへ参加するきっかけづくりを行う。

報告

第1回目は6月24日に「高田のまちあるき」をテーマに開催。高田世界館、宇喜世、今井染物屋等の歴史的な建物を利活用している取組みの現場を訪問。第2回目は中山間地での活動をテーマにNPO法人耕太郎

農園や NPO 法人自然王国ほその村、月影の郷を訪問し活動を見学した。

★数値実績：第 1 回 「市民活動をまち歩きで体験」参加者 13 人

第 2 回 「来て見て体験 中山間地」参加者 10 人



地域に自主自立した NPO を増やす事業

①NPO 設立、運営相談（ 継続事業 19 年目 達成レベル○ ）

目
標

多様な内容の相談が増加しているため、幅広いニーズに対応できる人材を育成する。また「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」等、各方面の専門家との連携を深めることで、対応力を向上させる。

報
告

NPO 法人として必要な申請や報告についての相談が増加。また例年同様、会計についての相談も多く寄せられた。引き続き対応スタッフの拡充（雇用）が課題。

数値実績：相談件数 14 団体 延べ 32 件

②講座（ 継続事業 17 年目 達成レベル△ ）

目
標

NPO 法人会計基準への移行に向けての相談が多くなっていることを踏まえ、NPO 法人の会計講座を開催し、速やかな活動計算書への移行を促す。

報
告

今年も 7 月に高田法人会が主催した「NPO の税務」セミナーに協力。NPO 向けのプログラムとしては、上越市との協働事業である「上越市市民活動交流会」を 8 回開催した。

③講師派遣

●講師派遣

日付	主催・依頼元	内容	担当
5月8日	妙高市	妙高わかもの会議（コーディネーター）	近藤・新保
6月8日	妙高市	妙高わかもの会議（コーディネーター）	近藤・新保
7月4日	日本青年会議所新潟ブロック協議会	防災フォーラム（パネラー）	近藤
7月11日	妙高市	妙高わかもの会議（コーディネーター）	近藤・新保

8月4日	新潟県社会福祉協議会	高齢者大学	近藤
8月8日	妙高市	妙高わかもの会議（コーディネーター）	近藤・新保
9月6日	妙高市	妙高わかもの会議（コーディネーター）	近藤・新保
3月12日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成研修会 中級	近藤

●視察受入

団体名・所属先	人数
燕市社会福祉協議会	12名
龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科	5名

④協働環境整備（ 継続事業 11年目 達成レベル○ ）

目
標

地域の市民活動の推進に必要な取り組みについて、行政と協力しながら検討し、来年度以降の事業として提案していく。また「妙高わかもの会議」のコーディネーターとして、若者世代のアドボカシーを後押しする。

報
告

- ・上越市から受託している「上越市 NPO・ボランティアセンター」について、上越市社会福祉協議会が設置している「ボランティアセンター」と情報共有や連携を検討するための「ボランティア連携推進会議」を6回開催。市民や団体にとって使いやすい相談窓口の機能強化に向けて検討を進めた。
- ・妙高市の「妙高わかもの会議」にコーディネーターとして参画。

⑤印刷機設置（ 上越市との協働事業 継続事業 7年目 達成レベル○ ）

目
標

NPOの発信力と利便性の向上を目的に上越市 NPO・ボランティアセンターにカラー印刷機を設置。団体に利用してもらう。

数値目標：単色印刷 500,000 枚の利用
カラー印刷 70,000 枚の利用

報
告

利用については横ばい傾向でカラー印刷が微増。設置して7年目となり、印刷機の耐久年数を迎え、保守料金が3倍近くに上昇しているため、本体の入れ替え時期等について検討している。

★数値実績：単色印刷 454,913 枚の利用
カラー印刷 30,786 枚の利用

⑥NPO インキュベーション施設提供（ 継続事業 16年目 達成レベル× ）

目
標

事務所の活用に向け、施設面の整備に加え、窓口代行や他団体の事務局委託等ソフト面の整備を提供していく。

報
告

現在、1団体が入居しているが、他団体にも入居をすすめていく。

くびき野 NPO サポートセンターの運営に関する事業

①会員拡大

2月9日に上越市市民プラザ内のカフェ＆ダイニングリラックスにて、「春をよぶ大交流会 2018」を開催。センターの会員をはじめとした NPO、企業、行政など様々な分野から 46 名が参加した。

★数値目標：個人会員 120、団体会員 75、企業会員 110

★数値実績：個人会員 81、団体会員 58、企業会員 90

③総会

5月25日に実施

④理事会

年4回開催

他団体主催の事業、会議への参加

①百年料亭全国調査・報告書作成事業（百年料亭ネットワークへの協力 新規 達成レベル○）

全国の歴史ある料亭をつなぐ「百年料亭ネットワーク」の事業へ協力。全国にある百年料亭の実態について把握するとともに、今後の活動方針を検討するための調査と観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」の報告書を作成した。

・843市区に対して調査を実施し、124市区から回答(回収率 14.7%)を得た。内容については右の通り。

【百年料亭ネットワーク会員基準による内訳】

①築100年・営業100年	⇒	48軒
②築70年・営業100年	⇒	16軒
③築100年・営業70年	⇒	2軒
④築70年・営業70年	⇒	19軒
その他・築年数等不明	⇒	51軒

②委員等の派遣

民間	NPO 法人マミーズ・ネット じょうえつ子育て info 評議会 委員
	上越市市民プラザ全体運営委員会 委員
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会 理事
	新潟県共同募金会上越支会 委員
上越市	上越市自治基本条例見直し検討委員会 委員
	上越市新年祝賀会実行委員会 委員
	上越市表彰審査会 委員
県内	一般財団法人新潟ろうきん福祉財団 理事、NPO 等助成事業選考委員会 委員
	特定非営利活動法人 NPO さんじょう 理事
	新潟県災害ボランティア調整会議財源検討部会 座長
全国	特定非営利活動法人日本 NPO センター 副代表理事